2025 年度
能力強化研修

「障害と開発：インクルーシブな開発の実現に向けて」コース

2025 年 4 月 16 日（水）～18 日（金）、
21 日（月）、22 日（火）（5 日間）

募集要項

独立行政法人国際協力機構
人事部開発協力人材室

※本研修はオンラインで実施します。
※2 月 16 日（日）から 2 月 24 日（月）に募集締切日を延長しました。

はじめに

障害者の数は世界人口の約 15%を占めており、全世界で約 10 億人と推計される障害者の約 8 割は途上国に住んでいます。教育や保健、就労など様々な場面においても特に厳しい状況に置かれているのは障害者といわれています。持続可能な開発目標（SDGs）を達成するには、これら障害者といわれる人たちが開発の取り組みにおいて排除されることなく、その過程と結果において平等に参加することを目指す必要があります。

日本が 2014 年 1 月に批准した国連障害者権利条約では、人権の視点から障害に取り組む必要性と、開発過程への障害者の参加の重要性が述べられています。また、2023 年 6 月に決定した日本の開発協力大綱も障害者に言及しており、全ての開発の取り組みに、「障害と開発」の視点を分野横断的に組み込むことが求められています。

これらの状況を踏まえ、JICA の新しい事業戦略であるグローバルアジェンダの中で、「『障害と開発』に特化した取り組み」と、「全ての開発の取り組みを『障害と開発』の視点から分析する主流化の取り組み」の二つを組み合わせる複線アプローチを JICA の基本的な協力アプローチであるとしています。

本コースの基礎となる視座は、多様性を基礎とした共生社会の実現です。この実現のために必要な分析の視点、取り組みの枠組み、そして具体的なアプローチと手法を参加者と一緒に考えていきます。必須の知識は午前中に講義形式で、視点や枠組み・アプローチは、午後にワークショップ形式で議論をしていきます。また、多様性という価値については、障害のある講師との対話を通して考えます。

本研修では、様々な開発課題の取り組みにおいて、「障害と開発」という分野横断的な視点・枠組みを組み込んだ障害インクルーシブな開発の推進に携わりたい方のご参加をお待ちしています。

1. 研修コース名、研修期間、募集人数

（1） 研修コース名：2025 年度能力強化研修「障害と開発：インクルーシブな開発の実現に向けて」コース
（2） 研修期間： 2025 年 4 月 16 日（水）～18 日（金）、21 日（月）、22 日（火）（5 日間）
（3） 募集人数： 30 名程度 （一般公募による参加者とは別に、JICA 内部から若干名、研修参加者を募集する予定）

2. 応募要件

下記の全ての要件を満たす方とします。
（1）JICA の専門家・調査団員、コンサルタントや NGO 職員等として JICA 事業に携わる意志があること。
（2）全日程に参加可能であること（※）。
（3）専門能力：開発分野もしくは障害分野において大卒または同等以上の専門性を有すること。
（4）実務経験：開発分野もしくは障害分野において途上国または国内での実務経験を 2 年以上有すること。

※海外在住者に向けた録画配信について
海外に在住の方で、時差があるという理由で午前の講義への参加が難しい方には、Zoom 等のブレイクアウトルームで行うワークショップ部分以外（講義部分等）の研修録画を共有する予定です。但し、録画視聴のみの場合は聴講参加となります（修了証の発行はいたしません）。なお、海外在住で、（日本時間の）午後のワークショップ部分を全てリアルタイムで参加され、且つ午前及び午後の講義を翌日以降に提供予定の録画で全て視聴された場合は、修了証を発行します。
詳しくは合格発表と同時に配布させて頂く「受講案内」をご参照ください。海外在住者向けの録画配信を希望する場合は、ご応募時に自己申告書にその旨をご記入ください。（本募集要項の「5. 応募方法、（2）、②自己申告書」を参照）。

3. 研修会場 ： 本研修は Zoom 等を用いてオンラインで実施します。

4. 研修概要

（1）目的：今後 JICA 事業に関わる人材が、SDGs を踏まえた多様性を基礎にした共生社会の実現に向け、障害インクルーシブな開発に取り組めるようになる。そのために、「障害と開発」に関する基本的な知識、分析及び実践の枠組みや視点、アプローチを獲得する。

【具体的目標】

① 「障害と開発」における「分析の視点」を獲得する。
② 「障害と開発」における「取り組みの枠組み」を理解する。
③ 「障害と開発」における種々の「アプローチ」を理解する。
④ 障害インクルーシブな開発を進めるための重要な分野の視点・考え方を獲得する。
⑤ 障害インクルーシブな開発実践のための具体的な取り組みの事例を理解し実践できる。

（2）日程 ※ プログラムの詳細は変更となる可能性があります。

講義日	時間	講義・演習名
4月16日（水）	午前	開会挨拶・研修導入
		障害と開発分野の動向
	午後	ワークショップ1：障害分析の視点（障害平等研修）
		ワークショップ1-1：「障害の社会モデル」
		振り返り/質疑、事務連絡/アンケート記入
4月17日（木）	午前	当事者中心
		障害と防災
	午後	ワークショップ1-2：「障害の社会モデル」
		ワークショップ1-3：「障害の社会モデル」
		ワークショップ2-1：「障害と開発」の分析の視点（ケイパビリティ・アプローチ、ジェンダー）
		振り返り/質疑、事務連絡/アンケート記入
4月18日（金）	午前	障害と経済・貧困
		インクルーシブ教育
	午後	ワークショップ2-2：「障害と開発」の分析の視点（ケイパビリティ・アプローチ、ジェンダー）
		ワークショップ3-1：「取り組みの枠組み（複線アプローチ、エンパワメント、Enablement、インクルージョン、主流化）」
		振り返り/質疑、事務連絡/アンケート記入
4月21日（月）	午前	アクセシビリティ（情報）
		アクセシビリティ（バリア・フリー）
	午後	ワークショップ3-2：「取り組みの枠組み（複線アプローチ、エンパワメント、Enablement、インクルージョン、主流化）」
		ワークショップ4-1：「アプローチ（CBID/CBR＊1/適正技術/参加型開発［PLA］）」
		ワークショップ4-2：「アプローチ（CBID/CBR/適正技術/参加型開発［PLA］）」

		振り返り/質疑、事務連絡/アンケート記入
4 月 22 日 （火）	午前	就労と障害
		多様性と共生：当事者との対話
	午後	JICA の取り組み　ワークショップ 5-1：「障害インクルーシブな事業の作り方」
		ワークショップ 5-2：「障害インクルーシブな事業の作り方」
		修了式、事務連絡/アンケート記入

＊1：CBID（Community Based Inclusive Development）、CBR(Community Based Rehabilitation)。
※午前は、（日本時間）9 時 30 分から 11 時 50 分、午後は（日本時間）13 時 00 分から 16 時 30 分までを予定。

5. 応募方法

以下の（２）に記載されている提出書類を揃え、締切日までに JICA が運営している国際キャリア総合情報サイト「PARTNER」（以下、「PARTNER」という。）から応募してください。先ず「PARTNER」の登録が完了していることが必要です。「PARTNER」の登録だけでは、研修コースへの応募は成立しません。「PARTNER」への登録後に本研修コースへ応募してください。応募書類の受付後、応募時に「PARTNER」で指定した本人連絡用 E メールアドレスに対し、受領通知メールと共に応募案件番号（受付番号）を通知します。応募後、通知が届かない場合は、「人材登録に関する問い合わせ先」までご連絡ください。

【国際協力人材登録に関する問い合わせ先】
独立行政法人国際協力機構 PARTNER 事務局
以下URL、PARTNERホームページの「お問い合わせ」からお願いします。
https://partner.jica.go.jp/Inquiry/Input

（１）「PARTNER」への登録
応募はすべて「PARTNER」経由で行います。応募にあたっては「PARTNER」に人材登録がなされていることが必須ですので、登録されていない方はまず「PARTNER」での人材登録を行ってください。「PARTNER」（人材登録）の URL
https://partner.jica.go.jp/Account/HRAboutRegist

【PARTNER 登録の注意事項】
同じく入力フォーム「プロフィールの公開」欄で「希望する」を選択し、公開先には必ず「JICA」を選択してください。

（２）応募書類
すべて所定の様式をご使用ください。所定の様式は、JICA ホームページ

（http://www.jica.go.jp/recruit/kyokakenshu/top.html）からダウンロードしてください。①の履歴書についてのみ、PARTNER から書式をダウンロードして作成してください。

①履歴書

応募に必要な「研修用履歴書」を「PARTNER」上で作成して提出してください（履歴書への写真添付は不要です）。一般履歴書など他の様式の履歴書は受け付けません。履歴書は、「PARTNER」ログイン後、マイページのメニューから作成できます。ファイル名は「氏名_1 履歴書」として、PDF 化して提出してください。

②自己申告書

必ず所定の様式を使用して提出してください。なお、時差のある方や、障害のある方等で合理的な配慮が必要な方は自己申告書の該当項目（６、７項目目）に必ず記載をお願いいたします。ファイル名は「氏名_2 自己申告書」として、PDF 化して提出してください。

③推薦書

所属先のある方は必ず所属先の研修参加の了承を得てください。なお、推薦書は、書式不問です。推薦書が用意できない場合は、その理由を記載してください。自営の方や所属先のない方は不要です。所属先にて応募者ご本人が代表を勤めている方も必要ありません。ファイル名は「氏名_3 推薦書」として、PDF 化して提出してください。

（３）応募

応募期間内に「PARTNER」の応募画面から応募してください（予め応募書類をご準備ください）。

① 以下の URL から「PARTNER」にアクセスし、画面右上の“ログイン”をクリックして「PARTNER」にログインします。 **「PARTNER」の URL** http://partner.jica.go.jp/

② 「研修セミナー情報」画面から該当のセミナー情報を検索し、「WEB から応募する」をクリックしてください。

② 上記（２）の応募書類を添付して PDF 化して提出してください。

6. 応募締め切り ： **2025 年 ~~2 月 16 日（日）~~** →2 月 24 日（月）に延長しました。

7. 選考結果の発表:

応募書類を審査の上、**2025 年 3 月 13 日（木）**を目途に、下記の「PARTNER」のマイページ上で合格者の応募案件番号（受付番号）を発表します。「PARTNER」にログインし、マイページの

「PARTNER からのお知らせ」をご確認ください。書面による通知及び JICA ホームページ上では発表しません。 ご自身の応募案件番号（受付番号）は受領通知メール、又はマイページ「メールボックス」の「受信 BOX」で「【PARTNER】研修・セミナーへの応募送信完了のお知らせ」を参照ください。 なお、選考結果に関する個別のお問い合わせには一切お答え出来ませんので、あらかじめご了承願います。

「PARTNER」の URL http://partner.jica.go.jp/

8. 修了証の発給： 全日程を修了された受講者へ、研修修了証書をお渡しします。

9. 参加費用： 無料

10. 留意事項

（1） 研修実況動画（オンライン）の録画について

本研修コースは、研修実況動画・音声を録画させていただき、JICA 内のイントラネットに掲載させていただく予定です。録画対象箇所は、受講者の皆様が映らない又は発言のない講義部分とワークショップ前の講義部分となります。受講者皆様の肖像権保護のため、当該部分に関しては、以下のご対応をお願い申し上げます。

- 講義中はマイク OFF、ビデオ OFF の徹底。
- 質疑応答は講義中ではなく、質疑応答時間中に行う。

ワークショップ本体（ブレークアウト（グループ分け））の部分については録画対象ではありません。また、動画の編集については、質疑応答の時間を録画動画から削除する作業のみを予定しています。1 年間で本録画動画は削除とする予定です。何卒、ご了承いただけますと幸いです。

（2）海外在住の聴講者若しくは日本時間の午後のワークショップ部分を全てリアルタイムで受講される正規受講者の方々に対する研修実況動画の録画につきましては、対象者に無編集で提供させていただく予定です。加えて、インターネット環境の不良等の影響でオンラインでの受信が上手くいかなかった受講者の事後学習用としても、その無編集の研修実況動画を活用させていただきます（そのような事態が起きた場合に受講者本人限定で共有予定です）。

（3）情報保障等の合理的配慮が必要な方につきましては、お気軽にご相談ください。
（4）研修期間中の事故等については、JICA は一切責任を負いません。予めご了承ください。
（5）研修実施に影響を及ぼすため、合格後の辞退は出来るだけご遠慮ください。
（6）円滑な研修運営に支障を来す恐れがあり、受講者本人や他の受講者の不利益になると JICA が判断した場合は、その後の研修参加をお断りする場合があります。
（7）研修修了一定期間の後、研修後の国際協力事業へのかかわり等に関するフォローアップ調査をアンケート形式で実施しますので、回答にご協力願います。
（8）受講のために必要な経費は自己負担となります。
（9）本研修では、オンライン受講に必要となる端末や、安定したインターネット環境(Wi-Fi 等)を、ご準備

―ご提出頂く応募書類の取り扱いについて―

提出書類は、選考の結果にかかわらず返却しませんので、あらかじめご了承願います。

【個人情報の利用目的】

当機構が収集した応募者の個人情報は、以下の目的で利用させていただきます。当機構は、ご本人の同意を得ないで、この利用目的の達成に必要な範囲を超えて応募者の個人情報を利用いたしません。

1. 当機構が能力強化研修の受講者の選考を行うため
2. 当機構の研修実施にかかわる各種情報（セミナー・イベントやホームページの案内等）や、人材募集情報の提供や連絡等を行うため
3. 応募者についての統計、データ分析を行うため
4. 研修の修了後、研修修了者へ能力強化研修の成果の活用状況について照会し、この結果を統計データとしてまとめ、将来的な研修カリキュラム改善に活かすため

【個人情報の取扱いについて】

当機構は収集した個人情報を当機構の責任のもとで適切に管理し、研修の受講に至らなかった場合は、当機構の責任のもとで適切に廃棄致します。この場合、書類の返却は致しておりませんのでご了承ください。

ください。

（10）所属先推薦書を含む応募書類に虚偽の記載が判明した場合、選考合格を取り消すとともに、修了証の発行は致しません。

以上

様式 1　自己申告書
様式 2　推薦書（書式不問）

【募集・選考に関する問い合わせ先】
独立行政法人国際協力機構　人事部開発協力人材室（研修管理室）
〒162-8433　東京都新宿区市谷本村町 10-5　JICA　市ヶ谷ビル
E-mail: hrgtc@jica.go.jp
【応募時のシステムに関する問い合わせ先】
PARTNER 事務局　E-mail: jicahrp@jica.go.jp